

令和8年4月1日

令和7年度（光陵高等学校）不祥事ゼロプログラム検証結果

項目・目標別実施結果項目	目標	実施結果と目標の達成状況
（１）法令遵守意識の向上	法令遵守を徹底し、公務員としての行動規範を確立することで、公務外非行を防止する。	啓発資料や職員行動指針等を活用し、職員研修会を実施し、公務員としての自覚とモラルの向上を図ることができた。
（２）職場のハラスメントの防止	職場内におけるパワハラを未然に防止する。	日常的に職員間の良好な人間関係の構築に努め、気になることがあれば、互いに声を掛け合う体制が形成された。啓発資料等を活用することや、ＳＳＷによる職員研修会を実施することで、人権意識の向上を図ることができた。
（３）生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラを行っている職員はゼロとする。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検を実施したり、研修動画を視聴したりするなど、自身の行動を振り返るとともに、組織として未然防止の雰囲気醸成することができた。
（４）体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防止する。	日常的に生徒の人権に配慮した指導が行われているか相互に点検し合い、気になることがあれば互いに声を掛け合うことができた。 生徒への指導は複数で行うことを基本とし、保護者への必要な連絡を迅速に行うことで、事故の未然防止を図ることができた。
（５）入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	点検体制を再確認し、マニュアルに基づいた業務を確実に行う。	全職員で、点検体制や業務マニュアルを再確認するとともに、成績処理・通知票作成及び発行において、マニュアルに従い確実に業務を行うことができた。進路関係の書類の作成及び取扱いについて点検体制を整えることで、事故防止に向け職員の意識が向上した。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題（校長意見）

年間を通して、職員全体で課題意識を持ちながら、不祥事ゼロプログラムの項目に取り組み、不祥事防止に対する意識が向上した。次年度も、職員同士による研修会等を通じた事例の研究、新聞記事の掲示・配付による情報提供と注意喚起、校内巡回、互いに注意喚起できる環境整備など、未然防止活動等の一層の充実を図ることにより、不祥事根絶に向けた取組を継続する。